

個別事業(取組)評価				
事業No.	7	施策の柱への位置付け	柱① 学校・学級改革	
事業名称	中学校学力向上対策非常勤講師配置事業		担当課	小中学校課
			当初予算額(千円)	33,962
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	32,991

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状 (課題) と その要因	【現状】 本県の中学生の学力、学習習慣の定着状況はいずれも改善傾向にあるが、依然として全国平均を下回る状況にある。 ※ 授業以外の1日あたりの学習時間が30分未満の中学生の割合 H19:25.0% H20:24.4% H21:21.1% H22:19.8% (うち全く勉強しない生徒) H19:11.5% H20:10.6% H21:7.8% H22:7.1%	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 全国学力・学習状況調査結果等の客観的なデータに基づき正確に把握している。
		【要因】 基礎学力や学習習慣の定着を図るための学習指導が十分にできていない要因の一つとして、教員が子どもと向き合う時間が十分に確保できていないことが挙げられる。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 学校訪問時のヒアリング等を通じて要因を特定している。
②	目標 (Outcome)	① 退職教員や豊かな社会人等の人材を非常勤の講師として活用することにより、教員が子どもと向き合う時間を拡充させる。 ※ 54校(公立中学校の約半数近くの学校)に配置予定 ② 全国学力・学習状況調査における家庭学習に関する項目を全国水準にする。	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 「時間の拡充」については数値目標の設定が困難であったが、配置校数や家庭学習に関する項目を全国水準にする等、具体的な目標を設定した。 エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ① 家庭学習の点検活動の一部をサポートが受け持つことにより、担任及び副担任が生徒と向き合う時間や教材研究等の時間が拡充した。 ・延べ640人、17,306時間配置 ② 中学生の授業以外での学習時間について、30分未満の生徒の割合は全国水準まで減少させることができた。 【H23 高知県中学生 授業以外の1日あたりの学習時間】※ ・30分未満の生徒の割合:14%(H22全国:16.9%) ・(うち全く勉強しない生徒の割合):7.1%(H22全国:7.1%) ※ 平成23年度全国学力・学習状況調査の希望利用を活用した調査結果(H23.10月~11月実施)
		【検証(比較)方法】 ◆ 派遣実績報告書等により把握する。 ◆ 平成23年度全国学力・学習状況調査の希望利用を活用した調査、到達度把握調査等で検証する。	オ 計画通り実施されていたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 各学校の課題や状況に応じて配置した非常勤講師が、授業での個別支援や放課後の補充学習指導、家庭学習の点検等の学習支援を行った。 ◆ 大規模校の多い高知市には、すべての中学校(19校に19名)に非常勤講師を配置した。 ・配置人数(発令数):79人 ・配置校64校
③	実施内容 (Input・Output)	◆ 中学校の学力向上に向けた取組を推進するため、個別学習や放課後学習の支援、あるいは宿題の点検と学習支援をする非常勤講師を県内54校程度の中学校に配置する。 ・派遣期間:6月1日から2月末日 ・配置時間数:1校あたり年間330時間(目安:2時間×5日×33週) ・対象学年・教科:中学校第1学年から第3学年・国語科、数学科、外国語科の教科等 ・業務内容:授業での個別学習支援、放課後の補充学習支援、家庭学習の点検と学習支援 ・指導者:退職教員や経験豊かな社会人等	(This cell content is merged into the previous cell for better readability, as per the image structure.)

総合評価 と 今後の方向	目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	【今後の方向】 本年度で事業は終了するが、引き続き本県の教育水準の向上を目指し、各学校の課題に向けた取組が積極的に行われるよう支援していくことが重要である。そのため、今後も全国学力・学習状況調査等の結果で、定量的に検証していく。
	【総合評価】 本事業を各校が効果的に活用し、教員が子どもと向き合う時間を拡充させることができた。また、生徒の家庭学習習慣についても、課題であった授業以外での学習時間の確保については、全国水準にまで改善しており、本事業の目的は一定達成することができた。	